

新型コロナウイルス（COVID-19）に対する ABM の声明 2020年3月10日

ABM STATEMENT ON CORONAVIRUS 2019 (COVID-19) March 10, 2020

<https://www.bfmed.org/abm-statement-coronavirus>

ご注意ください：COVID-19 感染についての情報は日々更新されています。ABM の勧告は現時点（この声明の発表日）における報告の情報に基づいています。最新のガイダンスは CDC や WHO のような情報源を参照ください。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/specific-groups/pregnancy-guidance-breastfeeding.html>

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

COVID-19 の経母乳感染

COVID-19 がどのように広がるかについては、不明なことが多い。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/about/transmission.html>

人から人への広がり、インフルエンザや他の呼吸器の病原体が広がるように、主に感染者が咳やくしゃみをした時の呼吸器飛沫によって生じると考えられている。COVID-19 や、こちらもコロナウイルスである SARS コロナウイルスに感染した女性の限られた報告では、このウイルスは母乳中には検出されていない。しかしながら、COVID-19 が経母乳感染するかどうかは不明である。

母乳は多くの疾患に対する防御作用を持つ。母乳育児や搾母乳を与えることが例外的に推奨されない場合は稀である。

<https://www.cdc.gov/breastfeeding/breastfeeding-special-circumstances/contraindications-to-breastfeeding.html>

CDC は、類似のコロナウイルスである SARS や MARS については、感染中の母乳育児について特化したガイダンスを発表していない。COVID-19 と同様な状況である、母親がインフルエンザに感染している場合について、CDC は、児へのウイルス感染予防策を取りながらの直接授乳や搾母乳を与えることを勧告している。

<https://www.cdc.gov/breastfeeding/breastfeeding-special-circumstances/maternal-or-infant-illnesses/influenza.html>

呼吸器ウイルスの経母乳感染の率が低いことを考慮し、WHO は COVID-19 に感染した母親も母乳育児ができることを宣言している。

<https://www.who.int/publications-detail/home-care-for-patients-with-suspected-novel->

[coronavirus-\(ncov\)-infection-presenting-with-mild-symptoms-and-management-of-contacts](#)

COVID-19 と母乳育児に関する現在の CDC のガイダンスはこちらから。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/specific-groups/pregnancy-guidance-breastfeeding.html>

自宅で

COVID-19 の感染が確認された、もしくは、COVID-19 の検査中で症状のある母親は、児にウイルスを感染させないために、すべての可能な予防措置を講じるようにする。それは、児に触る前には手を洗う、可能ならば授乳中はマスクを着用するなどである。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/guidance-prevent-spread.html>

手動や電動の搾乳器で搾乳する場合、母親は搾乳器やボトルの部品に触る前に手を洗い、使用後は推奨に従い適切に搾乳器を洗浄する。

<https://www.cdc.gov/healthywater/hygiene/healthychildcare/infantfeeding/breastpump.html>

可能であれば、健康な人に児の世話をしたり搾母乳を与えてもらったりすることを考慮する。

手指衛生は、アルコール含有 60% から 90% の手指消毒剤の使用を含み、以下の場合に行う：

感染した母親や感染の可能性のある用具の使用の前後、手袋を含む个人防护具（PPE）の着衣前と脱衣後。手指衛生は 20 秒以上の石鹸と水での洗浄でもよい。手指が目に見えて汚染された場合、石鹸と水による洗浄を行ってからアルコール含有手指消毒剤を用いる。

COVID-19 が確認された場合は、他の家族や友人、隣人から隔離（家庭内隔離）されるべきで、乳児も含むが、授乳は例外である。

（訳注：家庭内隔離の一例 <https://publications.msss.gov.qc.ca/msss/fichiers/2019/19-210-08A.pdf>）母親が搾乳をして母乳分泌維持をしている場合、理想的には、感染していない大人が児のニーズにあったケアを行い、搾母乳を児に与えることが望ましい。咳や気道分泌物が劇的に改善するまで少なくとも 5～7 日間は、母親は上に書かれたような厳重な手洗いとマスクの着用を実施する。家庭内隔離をいつ中止するかを決断には、医療保健専門家や医療施設に相談するのが有用かもしれない。

病院で

母乳育児を行うかどうかの選択権は母親と家族にある。

母親が元気で、ウイルスに暴露されただけであったり、軽い症状で検査中だったりした場合、母乳育児は合理的な選択で、母の気道分泌物が児に暴露するのを軽減するのにマスクやガウンを使用することや手厳重な手洗いをすることは比較的容易である。

母親が COV-19 に感染している場合は、もっと心配かもしれないが、直接授乳や児に搾母乳を与えることは、依然として合理的である。母親の病状によるが、児の気道分泌物への暴露を制限するためには、さらに注意深く推奨を守るようにする必要があるかもしれない。

母乳育児中の母親と児の同室／別室に関して、病院には選択肢がいくつかある。

1. 母子同室（母親と児が同じ部屋にいて、部屋に他の患者がいない）

母親と児のコットは 6 フィート（訳注 約 1.8 メートル）以上離す。児に触る前には手を洗い、児に触ったり直接授乳したりする間はマスクを着用するといったウイルス感染予防策を講じる。理想的には、健康な別の大人が児の世話をするために部屋にいることが望ましい。

2. 一時的な分離

母親が COVID-19 感染で状態が悪く、病院での医学的ケアを必要とする場合に行う。母親が母乳育児を予定している場合や、継続を希望する場合は、乳汁分泌の確立や維持のために搾乳を勧める。可能なら、専用の搾乳器を与える。搾乳前には、母親は手指衛生をおこなう。搾乳ごとに母乳に触れるすべての部品は入念に洗浄し、搾乳器全体をマニュアルに従い適切に消毒する。搾乳は健康な養育者が児に新生児に与える。

母親と家族は母乳育児を続けるために、また、母親の COVID-19 による病気の間搾母乳の使用方法、母乳分泌維持の方法、後から使うための搾母乳の保存方法などについて、追加のガイダンスや支援を必要とするかもしれない。

翻訳：NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 学術事業部

Translated by Japanese Association of Lactation Consultants (JALC)